

平成 23 年度 第 1 回
公立大学法人宮崎公立大学役員会 議事録

- I 日 時：平成 23 年 4 月 1 日（火）13:35～14:00
II 場 所：宮崎公立大学中会議室
III 出席者：井上理事長（議長）、中別府副理事長（学長）、
渡邊理事、上原理事、長友理事、近藤監事、清家監事
IV 資 料：公立大学法人宮崎公立大学業務方法書【資料 1】
公立大学法人宮崎公立大学定款【資料 2】
公立大学法人宮崎公立大学役員規程【資料 3】
公立大学法人宮崎公立大学役員会規程【資料 4】

V 内 容：

1 理事長あいさつ

井上理事長	はじめに、理事長より就任のあいさつを行った。
-------	------------------------

2 委員、事務局紹介

事務局	委員名簿により、各委員の紹介を行った。
-----	---------------------

3 審議事項

(1) 公立大学法人宮崎公立大学業務方法書の一部改正について

事務局	資料 1 を基に、今回の市立化に伴う公立大学法人宮崎公立大学業務方法書の一部改正について、改正概要の説明と提案があった。 改正理由 宮崎市が法人の設立者になったことに伴い、業務方法書に記載すべき事項を定める設立団体の規則が新たに制定されたため、その根拠となる規則名の改正を行うもの。
一同	特に質疑・意見もなく承認。

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 2 回役員会 議事要録

日 時	平成 23 年 6 月 9 日 (木) 13:30～15:00
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者：井上理事長（議長）、中別府副理事長（学長）、 渡邊理事、上原理事、長友理事、近藤監事、清家監事
配付資料	<p>【資料 1】平成 22 年度 公立大学法人宮崎公立大学 業務実績報告書(案)</p> <p>【資料 2】平成 22 事業年度 公立大学法人宮崎公立大学 財務諸表</p> <p>【資料 2 - 2】平成 22 事業年度 公立大学法人宮崎公立大学 決算報告書</p> <p>【資料 2 - 3】賃借対照表等（前年度比較）</p> <p>【資料 3】プロパー職員採用計画の見直し</p> <p>【資料 4】東日本大震災で被災した受験生等に対する支援について</p> <p>【資料 5】魅力ある大学づくり取組経緯</p> <p>【資料 6】宮崎公立大学 近況（報告）</p>
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、大学の近況報告として、①平成 23 年度入学式挙行（4 月 4 日）、②前期授業開始（4 月 10 日から）、③スポーツデイ開催（5 月 20 日）、④（財）宮崎学術振興財団助成金事業宮崎公立大学公開研究発表会開催（5 月 28 日）、⑤蔚山大学校（韓国の本学との学術交流協定校）受入開始（6 月 6 日から）、との報告がなされた。</p> <p>1 審議事項</p> <p>(1) 平成 22 年度業務実績報告書(案)について</p> <p>資料 1 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>なお、理事ならびに監事より、ハラスメント防止対策、特に匿名性の担保について、要望が出された。また、当該者および教職員向けのハラスメント防止研修会についての質問がなされた。</p> <p>(2) 平成 22 事業年度財務諸表及び決算報告書について</p> <p>資料 2、資料 2 - 2、資料 2 - 3 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>(3) 事務局職員のプロパー化について</p> <p>資料 3 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 東日本大震災で被災した受験生等に対する支援について</p>

	<p>資料4により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>なお、理事ならびに監事より、後期試験の追試験についての質問がなされた。</p> <p>(2) 魅力ある大学づくりについて</p> <p>資料5により、魅力ある大学づくりのこれまでの取組状況について、報告がなされた。</p> <p>なお、理事ならびに監事より、平成23年度から新体制となったことにより、同取組への方向性についての質問がなされたとともに、アンケートやコンソーシアムを活用した取組を行ってほしいとの要望が出された。</p> <p>(3) その他</p> <p>学長から、資料6により、(1)平成22年度就職活動支援状況、(2)本学入学志願者数減への対応状況、(3)安全で安心して学び合える大学への取組として、①ハラスメント再発防止への取組、②経済的支援状況、(4)科学研究費補助金等の状況、(5)図書館土曜日開館、(6)教員評価制度、(7)その他の状況として、①平成23年度入学者、②法人評価、③研究支援年、④カリキュラム改訂検討委員会、⑤平成22年度(財)宮崎学術振興財団助成事業 宮崎公立大学公開研究発表会開催報告、⑥「第1回 凌雲杯中国語コンテスト」、の説明があった。</p>
--	--

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 3 回役員会 議事要録

日 時	平成 23 年 9 月 20 日 (火) 9:55～11:35
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者：井上理事長（議長）、中別府副理事長（学長）、 渡邊理事、上原理事、長友理事、近藤監事、清家監事
配付資料	<p>【資料 1】 宮崎公立大学平成 24 年度の予算編成方針(案)</p> <p>【資料 2】 就職支援室の設置について</p> <p>【資料 3】 平成 22 年度の就職内定状況（過年度との比較）</p> <p>【資料 4】 組織改編に伴う法人規程の一部改正について</p> <p>【資料 5】 一般選抜・前期日程試験【鹿児島会場】の設置について</p> <p>【資料 6】 平成 24 年度推薦入試における各高等学校への推薦枠</p> <p>【資料 7】 教員の採用について</p> <p>【資料 8】 宮崎公立大学の明日を考える懇話会について</p> <p>【資料 9】 宮崎公立大学 近況(報告)</p> <p>【資料 10】 公立大学法人宮崎公立大学平成 22 年度の業務実績に関する 評価結果</p>
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、6 月の第 2 回経営審議会から本日までの大学行事についての説明がなされた。</p> <p>6～7 月 大学から提出した業務実績報告書に基づき、宮崎市公立大学法人評価委員会開催</p> <p>6～8 月 蔚山大学校、蔚山科学大学（韓国）ならびに蘇州大学（中国）の短期留学生受入</p> <p>7 月中旬 井上理事長、小八重事務局長、長友理事による在京者会議出席と企業訪問</p> <p>8 月 7 日 キャンパスガイド開催</p> <p>9 月 15 日、16 日 電気設備学会開催</p> <p>1 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度の予算編成方針(案)について</p> <p>資料 1 を基に、平成 24 年度公立大学法人宮崎公立大学予算編成方針（案）の説明がなされた。</p> <p>平成 24 年度は、中期目標・中期計画の最終年度にあたり、中期目</p>

標の達成のため、以下の基本方針に基づき予算を編成して事業展開を図り、教職員が一丸となって次期中期計画・中期目標期間に向けて更なる飛躍を目指す年とすることが報告された。

基本方針 1 広報活動の充実と地域に愛される大学づくり

基本方針 2 就職支援体制の強化と安心して学べる学習環境の整備

基本方針 3 自己収入の確保と経費削減による経営基盤の強化

(2) 就職支援体制の強化について

資料 2、3、4 を基に、昨今の厳しい就職状況（本学においては、平成 22 年度は開学以来過去最低の就職内定率（90.1%）、平成 23 年度の大学に対する求人件数は半減）に鑑み、これまで学務課学生係の中に設置されていた「就職活動支援室」を、平成 23 年 10 月より課レベルの組織に引き上げ、「就職支援室」として、就職支援室長を置く案についての説明がなされ、審議の上、原案通り了承された。

なお、委員より、体制の強化については一定の評価を得られたが、体制だけでなく、教員の就職支援に関する意識改革を行ってほしいとの意見が出された。

2 報告事項

(1) 一般選抜試験の鹿児島会場の新設について

資料 5 を基に、一般選抜前期試験における鹿児島会場の設置についての報告がなされた。

(2) 推薦枠の見直しについて

資料 6 に基づき、推薦入試における推薦枠の見直しについての報告がなされた。

委員より、過年度の推薦枠利用実績について質問があり、工業系ならびに農業系の利用実績や支援学校の状況についての報告がなされた。

(3) 教員の採用について

資料 7 に基づき、平成 22 年度末の退職教員ならびに平成 23 年度末に退職予定の教員の代わりに、平成 24 年度から教員を 2 名、公募により採用する旨が報告された。

委員より、採用方針や採用までの検討方法についての質問があり、素案作成の経緯や各部会、検討委員会及び審議会等で審議していく旨が説明された。

	<p>(4) 宮崎公立大学の明日を考える懇話会の開催について 資料8に基づき、9月22日(木)を第1回として、今年度中に3回程度、同会を実施することが報告された。</p> <p>(5) その他 学長から、資料9により、(1)就職活動支援、(2)本学入学志願者数減への対応、(3)安全で安心して学び合える大学として、①ハラスメント再発防止、②経済的支援、(4)科学研究費補助金等、(5)研究支援年(平成24年度実施)、(6)その他として、①宮元章次教授「日本運動生理学会 第12回学会賞」受賞、②第29回電気設備学会開催、③東日本大震災関連事項、④九州・沖縄地区協議会実施、の説明があった。</p> <p>3 その他 事務局より、2件の訴訟案件について、進捗状況の報告がなされた。 委員より、財政的に豊かでない宮崎が、公立大学を設置しているということの意味を受け止めて、同取組を行ってほしいという意見が出された。</p>
--	---

平成 23 年度 第 5 回（臨時）公立大学法人宮崎公立大学役員会 議事要録

日 時	平成 24 年 1 月 5 日（木）13：30～15：00
場 所	宮崎公立大学中会議室
出席者	井上理事長（議長）、中別府副理事長（学長）、渡邊理事 上原理事、長友理事、近藤監事、清家監事
配付資料	職員に対する処分案について（案）
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長から、これまでハラスメントの対策を行ってきたが、今回またハラスメントが起こったことに対し非常に遺憾であり、関係者に多大な迷惑をかけた旨、お詫びがあり、議事を開始した。</p> <p>1 審議事項</p> <p>（1）処分（案）について</p> <p>局長から、資料に基づき、職員に対する処分案についての説明があり、今回の処分案は、「懲戒解雇」に該当するとの提案があり、委員から、学生への指導者的立場にいる職員の行為と判断すべきなどの意見があった。</p> <p>意見交換の後、処分案の賛否について挙手による採決を行い、全員一致で「懲戒解雇」が承認された。</p> <p>2 その他</p> <p>今後のスケジュールについて、事務局から、明日の午前中に辞令交付し、午後 3 時に記者発表を予定している旨の説明があり、承認された。</p>

公立大学法人宮崎公立大学役員会 平成 23 年度第 6 回（臨時） 議事要録

日 時	平成 24 年 1 月 12 日（木） 11：00～12：00
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者：井上理事長（議長）、渡邊理事、上原理事、長友理事、 近藤監事、清家監事
配付資料	【資料 1】学長選考について 【資料 2】是正措置命令書
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、今回のハラスメント事案に対するお詫びと、公立大の再生に向けて進まなければならないとの説明があった。</p> <p>その後、前学長から、研究教育にたずさわる一人として、申し訳ない気持ちでいっぱいであり、まず学長を辞任し、深くお詫びしたいとの報告があった。</p> <p>1 審議事項</p> <p>(1) 学長不在に伴う事務処理について</p> <p>学長不在の間における学長の事務処理などを、学部長が代行するとの提案があり、特に疑義もなく承認された。</p> <p>(2) 学長の選考について</p> <p>資料 1 を基に、定款、規程等における学長選考についての説明と、経営審議会と教育研究審議会に選考委員の選出を依頼するとの説明があり、審議の上承認された。</p> <p>(3) 設置者からの是正措置命令と今後の対応について</p> <p>資料 2 を基に、宮崎市からは是正措置命令と現在の取組み状況についての説明があり、特に疑義もなく承認された。</p>

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 7 回役員会 議事要録

日 時	平成 24 年 2 月 7 日 (火) 14:00～15:15
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上理事長 (議長)、渡邊理事、上原理事、長友理事、清家監事
配付資料	<p>【資料 1】平成 24 年度公立大学法人宮崎公立大学当初予算の概要</p> <p>【資料 2】平成 24 年度予算編成方針と予算要求対比表</p> <p>【資料 3】暫定評価について</p> <p>【資料 4】〔抜粋〕暫定評価 (案)</p> <p>【参考資料】語句説明</p> <p>【資料 5】ハラスメントの対応について</p> <p>【資料 6】一般選抜入学試験出願状況</p> <p>【資料 7】平成 23 年度就職内定状況</p> <p>【資料 8】宮崎公立大学の今後の主な行事</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>理事長より、今回のハラスメント事件、またそれに伴う学長辞任を受けて、大学を再生するために、真摯に大学運営を行っていく旨のあいさつがなされた。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度予算 (案) について</p> <p>資料 1、2 を基に、平成 24 年度予算 (案) について、前回の役員会で承認された予算編成方針に基づき、具体的な平成 24 年度予算 (案) についての説明がなされた。</p> <p>理事から、メリハリのある予算執行を行ってほしいとの要望が出された。</p> <p>(2) 第 1 期中期目標・中期計画に係る暫定評価について</p> <p>資料 3、4 及び参考資料を基に、第 1 期中期目標・中期計画に係る暫定評価の説明がなされた。</p> <p>理事から、同窓会や後援会との連携を強化してほしいとの要望が出された。</p>

	<p>3 報告事項</p> <p>(1) ハラスメントの対応について 資料5を基に、今回のハラスメント事案に関する今後の対応について、報告がなされた。 理事から、被害学生の支援方法についての質問があり、事務局からそれぞれの案件についての支援体制が説明された。</p> <p>(2) 入学試験の志願状況について 資料6を基に、入学試験の志願状況について、平成24年度は、平成22～23年度の実績を上回り、前期日程：372名、後期日程：377名となったことが報告された。</p> <p>(3) 就職内定状況について 資料7に基づき、就職内定状況について、現状と過年度の状況を比較した上で、今年度の就職内定率は90%以上となるであろうことが報告され、残り10%の学生に対して、支援を強化していくことが報告された。</p> <p>(4) その他 資料8を基に、今年度末から来年度初めまでの主な学内行事について、報告がなされた。 理事から、マスメディアなどを利用した、より積極的な広報を行ってほしいとの意見が出された。</p> <p>4 その他 特になし。</p>
--	--

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 8 回役員会 議事要録

日 時	平成 24 年 3 月 28 日 (水) 16:30~18:30
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上理事長 (議長)、渡邊理事、上原理事、長友理事、清家監事
配付資料	<p>【資料 1】公立大学法人宮崎公立大学 平成 24 年度計画 (案)</p> <p>【資料 2】公立大学法人宮崎公立大学 平成 24 年度計画 (案)【語句説明】</p> <p>【資料 3】規程改正 (案) について</p> <p>【資料 4】学長統括特別補佐役等設置規程 (案)</p> <p>【資料 5】ハラスメント外部検証委員会報告書</p> <p>【資料 6】平成 23 年度教員選考について</p> <p>【資料 7】宮崎公立大学の明日を考える懇話会について 明日の公立大学のために (提言)</p> <p>【資料 8】20 周年記念事業・行事検討委員会報告書</p> <p>【資料 9】平成 24 年度入学試験結果</p> <p>【資料 10】平成 23 年度就職内定状況</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>理事長より、年度末に開催する本会議への出席のお礼と、本会は審議事項ならびに報告事項が多いため、円滑な議事進行への協力が依頼された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度計画 (案) について</p> <p>資料 1、2 を基に、平成 24 年度計画 (案) の説明がなされた。</p> <p>審議の結果、本計画については原案通り承認され、公立大学法人宮崎公立大学の設置者である宮崎市長へ届出されることとなった。</p> <p>(2) 規程の改正 (案) について</p> <p>資料 3 を基に、学長が欠けた場合の代行規定がないため、宮崎公立大学学則を「学部長は、学長に事故があるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。」の通り、改正案を作成したことが説明された。</p> <p>審議の結果、危機管理の観点から本規程の改正を行うという大学からの説明を受け、原案通り改正案が承認された。</p> <p>(3) 学長統括特別補佐役等設置規程 (案) について</p> <p>理事長の学長兼務が平成 24 年度も 1 年間継続することが報告され、</p>

その補佐役として、資料4に基づき、学長統括特別補佐役等設置規程（案）に基づく、特別補佐役等を検討していることが説明された。

規程（案）については承認されたが、特別補佐役等の責務および権限等について、異なった意見が出されたため、再度検討することとなった。

3 報告事項

(1) ハラスメント外部検証委員会報告書について

資料5に基づき、3月27日付で、公立大学法人宮崎公立大学ハラスメント外部検証委員会から報告書が提出されたことが報告された。これを受けて、役員会での報告を行った後、本報告書を本学ホームページで公表すること、学生への説明を行うこと、本報告書を受けた大学としての改善措置を4月上旬を目途に宮崎市長に報告すること、そして、3カ月後、6カ月後および1年後のそれぞれの時期に、検証を行っていくことが報告された。

(2) 教員選考会議について

資料6に基づき、教員選考会議（新規採用ならびに昇任）結果について、平成24年度は、2名の教員（「日本文学」、「国際法」担当）を新規採用するとともに、1名の教員を昇任させることが報告された。

(3) 「宮崎公立大学の明日を考える懇話会」からの提言について

資料7に基づき、今年度、学外委員7名により設置された「宮崎公立大学の明日を考える懇話会」から、提言書が提出されたことが報告された。

本提言書の内容としては、「リベラル・アーツ教育」のイメージ定着や男子学生の受け皿としての役割を果たすべきであること、そして足元の問題としてのハラスメント対策を深く反省し、防止対策に徹底的に取り組むこと等、であったことが報告された。

今後は、宮崎市当局と連携した上で、提言を受けた具体的な取組を行っていくことが報告された。

(4) 「20周年記念事業・行事検討委員会」からの報告書について

資料8に基づき、学内に設置された「20周年記念事業・行事検討委員会」について、委員長である事務局長から理事長あてに、「20周年記念事業・行事検討委員会報告書」が提出されたことが報告された。

本報告書の内容としては、平成25年度に本学が開学20周年を迎えることを契機として、継続的な事業として学生の修学支援事業を検

討していること、そして同 25 年度に「20 周年」の冠を付した各行事を実施することが報告された。

(5) 入学試験の状況について

資料 9 に基づき、平成 24 年度入学試験結果について、平成 24 年度は、入学者数が 212 名で確定し、最終的な志願倍率が 4.2 倍（実質倍率は 2.1 倍）となり、昨年度実績（志願倍率：3.9 倍、実質倍率：1.9 倍）を上回ったことが報告された。

(6) 就職内定状況について

資料 10 に基づき、212 名の卒業者がおり、うち 158 名が就職を希望し、その中で 148 名が就職内定を得ており、残り 10 名の就職に向けた支援を行っていることが、報告された。

教員間で就職支援に関する意識に差があるため、就職支援室を中心に、啓発活動を行ってほしいとの要望が出された。

4 その他

特になし。